

平成24年度第4回森林の未来を考える懇談会資料

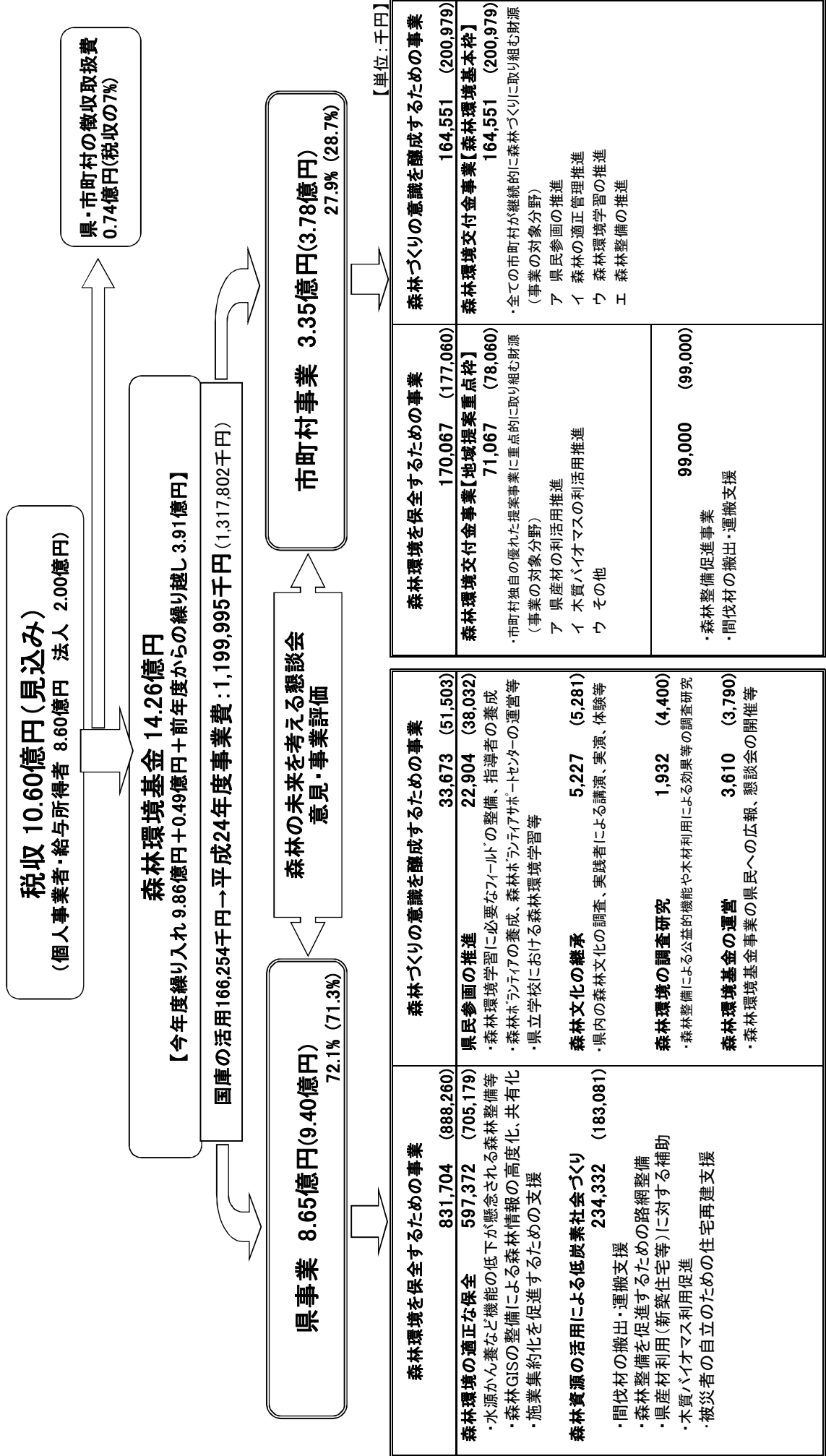
平成24年度の 森林環境基金事業進捗状況について

- 平成24年度森林環境基金事業の枠組み(2月補正)
- 平成24年度(2月補正)森林環境基金充当事業一覧表
- 平成24年度の森林環境基金事業実績見込みについて

平成25年 3月26日

福島県農林水産部森林計画課

平成24年度森林環境基金事業の枠組み(2月補正)



森林環境を保全するための事業		森林づくりの意識を醸成するための事業	
831,704 (888,260)	33,673 (51,503)	170,067 (177,060)	164,551 (200,979)
森林環境の適正な保全 597,372 (705,179) ・水源かん養など機能の低下が懸念される森林整備等 ・森林GISの整備による森林情報の高度化、共有化 ・施業集約化を促進するための支援 森林資源の活用による低炭素社会づくり 234,332 (183,081) ・間伐材の搬出・運搬支援 ・森林整備を促進するための路網整備 ・県産材利用(新築住宅等)に対する補助 ・木質バイオマス利用促進 ・被災者の自立のための住宅再建支援	森林づくりの意識を醸成するための事業 県民参画の推進 22,904 (38,032) ・森林環境学習に必要なフィールドの整備、指導者の養成 ・森林ボランティアの養成、森林ボランティアサポートセンターの運営等 ・立学校における森林環境学習等 森林文化の継承 5,227 (5,281) ・県内の森林文化の調査、実践者による講演、実演、体験等 森林環境の調査研究 1,932 (4,400) ・森林整備による公益的機能や木材利用による効果等の調査研究 森林環境基金の運営 3,610 (3,790) ・森林環境基金事業の県民への広報、懇談会の開催等	森林環境を保全するための事業 森林環境交付金事業【地域提案重点枠】 71,067 (78,060) ・市町村独自の優れた提案事業に重点的に取り組む財源(事業の対象分野) ア 県産材の利活用推進 イ 木質バイオマスの利活用推進 ウ その他 99,000 (99,000) ・森林整備促進事業 ・間伐材の搬出・運搬支援	森林づくりの意識を醸成するための事業 森林環境交付金事業【森林環境基本枠】 164,551 (200,979) ・全ての市町村が継続的に森林づくりに取り組む財源(事業の対象分野) ア 県民参画の推進 イ 森林の適正管理推進 ウ 森林環境学習の推進 エ 森林整備の推進

()は当初予算額

平成24年度(2月補正)森林環境基金充当事業一覧表

福島県 農林水産部 森林計画課

単位:千円

事業名	担当課(室)	2月補正予算			当初予算			増減			備考
		計	財源内訳		計	財源内訳		計	財源内訳		
			基金繰入金(a)	国庫等		基金繰入金(b)	国庫等		基金繰入金	国庫等	
森林環境の適正な保全		690,372	524,118	166,254	798,179	603,849	194,330	△ 107,807	△ 79,731	△ 28,076	88%
森林整備事業(森林整備促進事業含む)	森林整備課	628,345	496,548	131,797	722,138	571,608	150,530	△ 93,793	△ 75,060	△ 18,733	87%
森林整備地域活動支援交付金事業	森林計画課	51,686	17,229	34,457	65,700	21,900	43,800	△ 14,014	△ 4,671	△ 9,343	79%
森林環境適正管理事業	森林計画課	8,641	8,641		8,641	8,641		0	0	0	100%
「ふくしまの森」カーボンネット事業	森林整備課	0	0		0	0		0	0	0	-
花粉の少ない森林づくり事業	森林整備課	1,700	1,700		1,700	1,700		0	0	0	100%
森林資源の活用による低炭素社会づくり		240,332	240,332	0	189,081	189,081	0	51,251	51,251	0	127%
間伐材搬出支援事業	林業振興課	96,412	96,412		97,500	97,500		△ 1,088	△ 1,088		99%
森林整備促進道路整備事業	森林整備課	30,192	30,192		30,240	30,240		△ 48	△ 48		100%
ふくしま低炭素社会づくり推進事業	林業振興課	3,191	3,191		3,304	3,304		△ 113	△ 113		97%
もつともっと木とかい推進事業	林業振興課	12,200	12,200		12,200	12,200		0	0		100%
木質バイオマス利活用促進事業	林業振興課	0	0		0	0		0	0		-
森を木づかうふくしま住まいる事業	建築指導課	75,000	75,000		45,000	45,000		30,000	30,000	0	167%
住宅再建支援事業	建築指導課	22,500	22,500		0	0		22,500	22,500		皆増
カーボンオフセット普及促進事業	環境共生課	837	837		837	837		0	0		100%
市町村が行う森林づくり等の推進		235,618	235,618	0	279,039	279,039	0	△ 43,421	△ 43,421	0	84%
森林環境交付金事業【森林環境基本枠】	森林計画課	164,551	164,551		200,979	200,979		△ 36,428	△ 36,428		82%
森林環境交付金事業【地域提案重点枠】	森林計画課	71,067	71,067		78,060	78,060		△ 6,993	△ 6,993		91%
県民参画の推進		22,904	22,904	0	38,032	38,032	0	△ 15,128	△ 15,128	0	60%
担い手緑化推進事業(林業普及推進事業費)	林業振興課	400	400		400	400		0	0		100%
森林環境学習の森整備事業	森林保全課	7,850	7,850		21,440	21,440		△ 13,590	△ 13,590		37%
森林ボランティア総合対策事業	森林保全課	7,708	7,708		9,189	9,189		△ 1,481	△ 1,481		84%
森林づくり指導者育成事業	森林保全課	2,300	2,300		2,300	2,300		0	0		100%
県立学校における森林自然学習支援事業	高校教育課	4,646	4,646		4,703	4,703		△ 57	△ 57		99%
ふくしまの森林文化の継承		5,227	5,227	0	5,281	5,281	0	△ 54	△ 54	0	99%
ふくしまの森林文化継承事業	森林計画課	5,227	5,227		5,281	5,281		△ 54	△ 54		99%
森林環境の調査		1,932	1,932	0	4,400	4,400	0	△ 2,468	△ 2,468	0	44%
猪苗代湖水環境保全対策調査事業	水・大気環境課	1,932	1,932		4,400	4,400		△ 2,468	△ 2,468		44%
森林環境基金の運営		3,610	3,610	0	3,790	3,790	0	△ 180	△ 180	0	95%
森林環境基金運営事業	森林計画課	3,610	3,610		3,790	3,790		△ 180	△ 180		95%
合計		1,199,995	1,033,741	166,254	1,317,802	1,123,472	194,330	△ 117,807	△ 89,731	△ 28,076	91%
森林環境基金	森林計画課	1,035,452	1,035,452		982,408	982,408		53,044	53,044		105%

平成24年度の森林環境基金事業実績見込みについて

※予算額は2月補正後
また（）書きは当初予算額

I 森林環境の適正な保全

1 森林整備事業

(森林整備課)

事業概要

水源区域及び水源かん養又は山地災害防止機能の発揮を重視する森林において、手入れが行われず荒廃が懸念される森林に対し、補助事業により間伐等の森林整備を実施する事業。

・ 森林整備事業 (10/10支援)	予算額：434,355千円 (500,600千円)
・ 森林整備促進事業 (7.5/10支援)	予算額：193,990千円 (221,538千円)
合 計	予算額：628,345千円 (722,138千円)
(うち森林環境基金：496,548千円、国庫：131,797千円)	

○平成24年度実績見込み

- ・ 森林整備事業 1,830ha (事業費：434,355千円)
- ・ 森林整備促進事業 850ha (事業費：193,990千円)

森林整備事業の実施状況(いわき市)



森林整備(間伐)実施前状況



森林整備(間伐)実施後状況



林業機械による間伐の様子



林業機械による間伐材搬出の様子

2 森林整備地域活動支援交付金事業

(森林計画課)

事業概要

森林の有する多面的機能の発揮を図る観点から、集約化施策を促進するために必要な森林経営計画の作成支援を行う事業。

- ・ 森林整備地域活動支援交付金事業 予算額：51,686千円 (65,700千円)
(うち森林環境基金：17,229千円、国庫等：35,174千円)

○平成24年度実績見込み

- ・ 森林整備地域活動支援交付金事業 (事業費：51,686千円)

森林組合等が森林経営計画を作成するために必要な森林情報の収集や森林経営計画への参画における森林所有者の同意取得等の活動に対し支援を行った。

森林経営計画作成促進支援：6,469ha

3 森林環境適正管理事業

(森林計画課)

事業概要

森林環境を適正に管理し業務の効率化を図るために森林GISの運用を行うとともに、地図上で森林情報を確認できるウェブサイト「ふくしま森まっぷ」を活用した県民への情報発信を推進する事業。

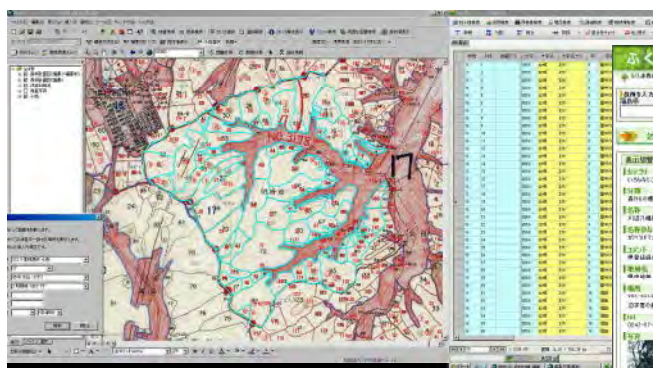
- ・ 森林情報 (GIS) 活用推進事業 予算額：8,641千円 (8,641千円)

○平成24年度実績見込み

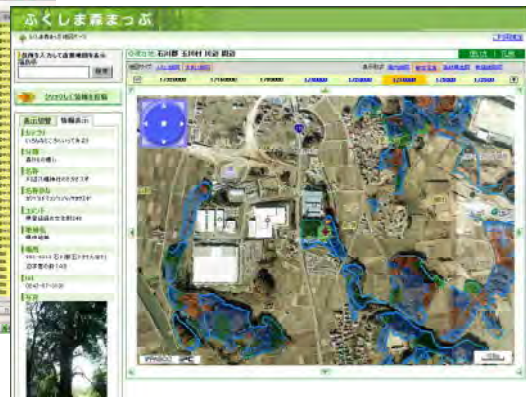
- ・ 森林情報 (GIS) 活用推進事業 (事業費：8,641千円)

森林GISを構成する①森林資源情報システム、②施業履歴管理システム、③森林情報発信システムの保守・運用業務を委託事業として実施した。

また、OS移行に伴うシステム改修調査を実施するとともに、「ふくしま森まっぷ」の情報表示内容の検討を行った。



「森林GIS」による
森林資源情報の表示



「ふくしま森まっぷ」による
森林情報の表示

4 花粉の少ない森林づくり事業

(森林整備課)

事業概要

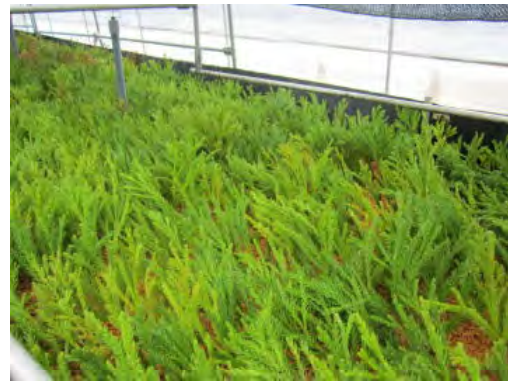
森林環境に配慮した再生林による森林の若返りを図るため、花粉症対策品種苗木を養成するとともに、採種・採穂園の整備により造林地へ花粉症対策苗木の供給を行う事業。

- ・ 花粉の少ない森林づくり推進事業 予算額：1,188千円 (1,188千円)
- ・ 花粉の少ない苗木づくり促進事業 予算額：512千円 (512千円)
- 合 計 予算額：1,700千円 (1,700千円)

○平成24年度実績見込み

- ・ 花粉の少ない森林づくり推進事業 さし付け本数：約5,500本 (事業費：1,188千円)
- ・ 花粉の少ない苗木づくり促進事業 さし付け本数：約1,500本 (事業費：512千円)

市町村有林の植樹祭等に配付する目的や、採種園、採穂園用の台木とするため、花粉症対策品種のさし付けを行った。



花粉対策品種のさし付け状況

II 森林資源の活用による低炭素社会づくり

5 間伐材搬出支援事業

(森林整備課・林業振興課)

事業概要

低炭素社会づくりの一環として、これまで搬出・利用が十分に進んでいない間伐材等未利用材の搬出を支援することにより建築・合板用材、燃料等の利用拡大を図り、森林が吸収した二酸化炭素の固定化と二酸化炭素排出量削減を促進する事業。

・ 間伐材運搬経費支援事業	500円/㎡	予算額：11,412千円 (12,500千円)
・ 林内作業路整備支援事業	500円/m	予算額：25,000千円 (25,000千円)
・ 間伐材二酸化炭素削減支援事業	1,500円/㎡	予算額：60,000千円 (60,000千円)
合 計		予算額：96,412千円 (97,500千円)

○平成24年度実績見込み

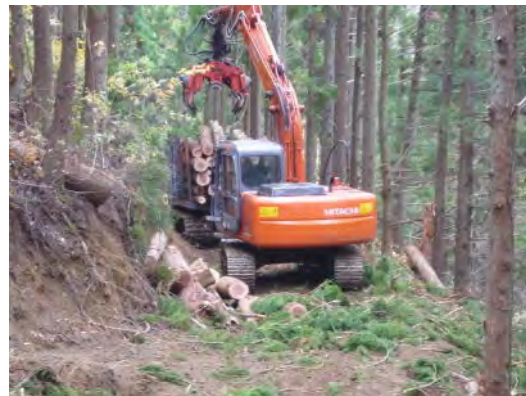
・ 間伐材運搬経費支援事業	22,824㎡	補助額：11,412千円
・ 林内作業路整備支援事業	50,000m	補助額：25,000千円
・ 間伐材二酸化炭素削減支援事業	40,000㎡	補助額：60,000千円

間伐材の利用促進を図るため、間伐材の搬出に必要な作業路の整備及び原木市場、木質燃料加工施設等への間伐材の運搬を支援した。

間伐材搬出支援事業の実施状況(いわき市)



間伐材搬出支援事業による間伐材運搬のための積み込み様子



間伐材搬出支援事業により開設した作業路を利用して間伐材を搬出する様子

6 森林整備促進路網整備事業

(森林整備課)

事業概要

路網の未整備により間伐等が遅れている森林に対し、作業道を開設することで森林整備と搬出の促進を図り、森林環境の保全及び森林資源の活用により低炭素社会づくりを目指す事業。

- ・森林整備促進路網整備事業 4,200円/m 予算額：30,192千円 (30,240千円)

○平成24年度実績見込み

- ・森林整備促進路網整備事業 8,852m 事業費：30,192千円

水源区域及び水源かん養機能又は山地災害防止機能を重視する森林に対して、継続的な森林整備の促進を図るため、トラックが通行可能な耐久性のある作業道を開設する経費を助成した。



作業道の利用状況(川俣町西福沢地区)



作業道の利用状況(国見町貝田地区)

7 ふくしま低炭素社会づくり推進事業

(林業振興課・森林保全課)

事業概要

県民が一体となった低炭素型社会の形成を進めるため、林業関係者以外による森林整備の推進や木材の利用促進を図るための事業。

- | | |
|-----------------------|-----------------------|
| ・カーボンフセット森森(もりもり)元気事業 | 予算額：199千円 (304千円) |
| ・緑の住宅普及支援事業 | 予算額：2,992千円 (3,000千円) |
| 合 計 | 予算額：3,191千円 (3,304千円) |

○平成24年度実績見込み

- ・カーボンフセット森森(もりもり)元気事業(事業費：199千円)

企業・団体等が社会貢献活動として行う森林整備活動において、今年度は、新たに2社について森林づくり活動協定を締結した。



H24.9.7企業の森(DHC)協定締結



H24.9.7企業の森(東邦銀行)協定締結

- ・緑の住宅普及支援事業(事業費：2,992千円)

県産材を利用した住宅の建設促進のため、ふくしま家づくりマイスター講習会の開催、イベントへの住宅モデルの出展・展示、家づくりワークショップ等の普及啓発活動を実施した。

- ①ふくしま家づくりマイスター講習会(3回開催)
全受講修了者数 16名, 参加者数 85名
- ②住宅モデルを出展・展示したイベント
福島県林業祭
会津ブランドものづくりフェア
うつくしま住まいとリフォーム博2013
- ③家づくりワークショップ等(6回開催) 参加者数 計180名



ふくしま家づくりマイスター講習会の様子



住宅モデルを展示したイベント(林業祭)の様子

8 もっともっと木づかい推進事業

(林業振興課)

事業概要

公共施設の木質化や学校教育現場における木育活動の推進等によって、県民の木材利用に対する意識を醸成し、一般住宅等民間建築物における県産材の利用拡大やバイオマスエネルギー利用機器の普及を図り、低炭素型社会の実現に資するための事業。

・木景観形成促進事業	予算額： 5,000千円 (5,000千円)
・新「ほっと」スペース創出事業	予算額： 3,500千円 (3,500千円)
・木とのふれあい創出事業	予算額： 1,800千円 (1,800千円)
・バイオマス暖房でCO2削減事業	予算額： 1,900千円 (1,900千円)
合 計	予算額： 12,200千円 (12,200千円)

○平成24年度実績見込み

・木景観形成促進事業(事業費：5,000千円)

県内民間団体等を事業主体とし、提案公募型での県産材を活用した施設の整備に対し支援を行った。

- ① 福島市土湯温泉の足湯のあずま屋を整備した。
- ② 伊達市やながわ希望の森公園内に案内板及び木製ベンチを整備した。
- ③ 会津若松市芦の牧温泉街に案内板を整備した。
- ④ 伊達市霊山こどもの村の屋外デッキにテーブルとイスを設置した。
- ⑤ 二本松市道の駅ふくしま東和に案内看板と休憩用テーブルセットを整備した。

・新「ほっと」スペース創出事業(事業費：3,500千円)

- ① 飯舘村立いたて中学校仮設校舎に木製本棚を設置した。
- ② 高子沼遊歩道に木製ベンチを設置した。
- ③ 郡山開成学園(郡山女子大学)のロビーに木製ベンチを設置した。
- ④ ふるさと絆情報ステーション(白河)に木製テーブル・ベンチ等を設置した。
- ⑤ 昭和の森の展望台に木製テーブル及びベンチを設置した。
- ⑥ 県民ホール県庁消費組合コーヒーショップに木製トレイを整備した。
- ⑦ 会津田島駅、会津下郷駅に木製手荷物台や本棚、カタログラックを設置した。
- ⑧ 県立田島高等学校に木製ベンチを設置した。
- ⑨ 特別養護老人ホームに木製足置き台やCDラック、ベンチ等を設置した。
- ⑩ いわき合同庁舎に木製ベンチ、掲示板を設置した。

・木とのふれあい創出事業（事業費：1,800千円）

木を学び親しむ機会を創出するため木工工作用資材を配布するとともに、各方部において出前講座の実施を行った。

・バイオマス暖房でCO2ダイエット事業（事業費：1,900千円）

木質バイオマスエネルギー利用機器の民間における導入支援（37台）を行った。
（ペレットストーブ、薪ストーブ、補助額：5万円/台）



新「ほっと」スペース創出事業
白河市ふるさと絆情報ステーション
に設置した木製テーブルとベンチ



木とのふれあい創出事業
配布した木工工作用資材を利用
した工作風景

9 森を木づかうふくしま住まいる事業

（建築指導課）

事業概要

低炭素型社会の実現を図るため、県内工務店等により県産木材を一定以上用いて住宅を新築する場合に、建築主に対し建設費の一部を補助する事業。

・森を木づかうふくしま住まいる事業 予算額：75,000千円（45,000千円）

○平成24年度実績見込み（事業費：75,000千円）

住宅部分の使用木材の1/2以上が県産木材であること等の要件を満たす木造住宅の新築に対し、1戸あたり30万円の助成を行った。

また、本事業を活用して建設された住宅の完成見学会を開催し、県産材を利用した住宅の、木の香りや温かみのある落ち着いた雰囲気をもPRした。

・当初募集：150戸、追加募集：100戸



住宅の完成見学会の様子（須賀川市）

10 住宅再建支援事業

(建築指導課)

事業概要

県産木材等資材の有効活用を図るため、今後空き棟となる木造応急仮設住宅を、被災者等の恒久住宅等として再利用するための仕組みを構築する事業。

- ・木造応急仮設住宅再利用促進事業 予算額：22,500千円(0千円)

○平成24年度実績見込み(事業費：22,500千円)

木造応急仮設住宅を再利用することにより、被災者等に良質で低廉な恒久住宅等として迅速に提供できるシステム等を構築するため委託事業を実施し、再利用のバリエーション及び基本計画(イメージ図や概算工事費等)を作成した。

木造応急仮設住宅活用のイメージ



木造応急仮設住宅



再利用する恒久住宅のイメージ

11 カーボンオフセット普及促進事業

(環境共生課)

事業概要

低炭素社会構築に向けた手法の一つである「カーボン・オフセット」(削減活動への投資等による埋め合わせ)について、事業者等のクレジット利活用を促進するとともに、温室効果ガスの排出の伸びが著しい一般家庭において制度に係る理解を深めてもらうことで、エネルギー資源やクレジットによる資金が地域内で循環する社会を目指す。

- ・カーボンオフセット普及促進事業 予算額：837千円(837千円)

○平成24年度実績見込み(事業費：837千円)

県民及び事業者等に対し、国内クレジットやオフセット・クレジット(J-VER)を活用したカーボン・オフセットの取組みが実施できるよう各クレジットの活用に関する研修会を開催し、カーボン・オフセットの取組みを喚起した。

さらに、県全体としてカーボン・オフセットを推進していくため、カーボン・オフセット地域リーダーの養成を目的とした勉強会を開催した。地域リーダーとしては地球温暖化防止活動推進員を対象とした。

- ・研修会の開催(1回：1方部×1回)
- ・地域リーダー養成講座の開催(3回：3方部×各1回)



地域リーダー養成講座の状況
(福島市)



地域リーダー養成講座の状況
(郡山市)



地域リーダー養成講座の状況
(会津若松市)



研修会開催の状況(郡山市)

Ⅲ 市町村が行う森林づくりの推進

12 森林環境交付金事業

(森林計画課)

事業概要

県民一人一人が参画する新たな森林づくりを効果的に進めるため、市町村が独自性を発揮して創意工夫を凝らした事業を展開することができるよう、森林環境基金の一部を交付する事業。

- ・ 森林環境基本枠 予算額：164,551千円 (200,979千円)
 全ての市町村に対し一定の取り組みを継続的に実施できるよう支援
 対象分野：①県民参画の推進、②森林の適正管理推進、③森林環境学習の推進、
 ④森林整備の推進
 - ・ 地域提案重点枠 予算額：71,067千円 (78,060千円)
 市町村の創意工夫による優れた提案事業
 対象分野：①県産材の利活用推進、②木質バイオマスの利活用推進、③その他
- 合 計 予算額：235,618千円 (279,039千円)

○平成24年度実績見込み (事業費：215,240千円)

- ・ 森林環境基本枠 56市町村、164,551千円 (震災により3町村で未実施)
 最大：9,474千円 (南会津町)、最小：343千円 (広野町)、平均：2,939千円
 森林環境学習実施校：339校 (全736校の46%)
- ・ 地域提案重点枠
 要 望：27市町村、62件、89,930千円
 採 択：25市町村、59件、81,062千円
 実 績：23市町村、56件、71,067千円
 - ① 県産材の利活用推進 (24市町村、48件、62,863千円)
 - ② 木質バイオマスの利活用推進 (5市町村、7件、7,804千円)
 - ③ その他 (1町、1件、400千円)



森林環境学習の推進(いわき市)



県産材の利活用推進(会津桐を使った幼稚園の床の木質化)

IV 県民参画の推進

13 担い手緑化推進事業（林業普及推進事業費）

（林業振興課）

事業概要

森林・林業・木材産業の果たす役割や県民参画による森林づくりを推進するために開催している林業祭において、森林・林業・木材産業のPRを行い理解促進を図るための事業。

- ・担い手緑化推進事業 予算額：400千円（400千円）

○平成24年度実績見込み

平成24年10月20日（土）、21日（日）に開催された林業祭において、森林環境基金事業をPRするとともに、林業復興をテーマとしたシンポジウムの開催、チェーンソーアート、きのこ料理教室などのイベントや木工工作体験、木製品等の展示販売を実施し、森林・林業・木材産業の震災からの復興と理解促進を図った。

- ・来場者：2,700名



林業祭(チェーンソーアート)の様子



林業祭(きのこ料理教室)の様子

14 森林環境学習の森整備事業

（森林保全課）

事業概要

県民へ森林とのふれあいの場や森林環境学習の場を提供するため、フィールドの整備や障がい者の積極的な利用を図るための歩道の整備等を行う事業。

- ・県有林フィールド整備事業 予算額：7,850千円（8,440千円）
 - ・歩道バリアフリー化事業 予算額：0千円（13,000千円）
- | | | |
|---|---|-----------------------|
| 合 | 計 | 予算額：7,850千円（21,440千円） |
|---|---|-----------------------|

○平成24年度実績見込み（繰越）

- ・県有林フィールド整備事業（事業費：7,850千円）

森林環境税の重要性や森林環境学習の場として、容易に利用できるフィールドの整備を行う。

15 森林ボランティア総合対策事業

(森林保全課)

事業概要

県民参加による森林づくり運動を推進するため、県民への森林ボランティア活動への参加支援と森林整備ボランティアの核となる人材育成を行う森林ボランティアサポートセンターを運営するとともに、県内各地域において積極的な森林整備活動を行うボランティア団体の活動支援を行い、県民の森林づくり推進に向けた総合的な環境整備を行い、「循環の理念」の具現化を図るための事業。

- ・森林ボランティア活動推進事業 予算額：2,159千円 (3,500千円)
 - ・森林ボランティアサポート事業 予算額：5,549千円 (5,689千円)
- 合 計 予算額：7,708千円 (9,189千円)

○平成24年度実績見込み

・森林ボランティア活動推進事業（事業費：2,159千円）

森林整備活動や森林づくり意識醸成活動などを実施した14団体に対して2,159千円を補助した。

・森林ボランティアサポートセンター設置事業（事業費：5,549千円）

森林ボランティアサポートセンターを引き続き「県民の森」内に設置し、ホームページ及び広報誌（森ボラ新聞4回発行）によるイベントなどの情報提供、相談業務、森林整備機材の貸出等を行った。（アクセス件数(4～12月)：41,604件、平均：4,622件/月）



森林ボランティアサポートセンターのHP



「フォレストパークあだたら」に開設された森林ボランティアサポートセンター



森林ボランティアサポートセンター活動の様子

16 森林づくり指導者育成事業

(森林保全課)

事業概要

一般県民及び児童生徒等の森林環境学習を推進するため、指導者の育成を行う事業。

- ・第3期もりの案内人養成事業 予算額：1,923千円 (1,923千円)
 - ・森林環境学習指導者育成事業 予算額：377千円 (377千円)
- 合 計 予算額：2,300千円 (2,300千円)

○平成24年度実績見込み

・第3期もりの案内人養成事業（事業費：1,923千円）

森林とのふれあいを通して森林の役割や重要性を広く県民に伝えるボランティアである指導者の養成を行った。受講者26名。

・森林環境学習指導者育成事業（事業費：377千円）

森林環境及びその指導方法について、特に専門的な知識と指導技術に関する研修会を開催し、指導技術の一層の向上を図りながら、森林環境学習の場において活躍できる指導者を育成した。参加者76名。



第3期もりの案内人養成講座の開催状況

17 県立学校における森林自然学習支援事業

(高校教育課)

事業概要

県立学校が行う森林の環境に関する学習、森林の管理に関する学習、森林資源の利用に関する学習、地域における森林の役割に関する学習及び森林に関わる職業に関する学習に対する活動費を支援する事業。

・県立学校における森林自然学習支援事業 予算額：4,646千円（4,703千円）

○平成24年度実績見込み

実施校数 8校

①岩瀬農業高校（事業費：1,433千円）

森林周辺の肥沃な湿地帯に群生するサギソウは、森林環境の影響を強く受ける。「サギソウ」の保護活動を通して、森林の重要性と環境保護への理解を深めるとともに、発表や地域住民との交流を通して地域への情報発信と学校理解への深化を図った。

②修明高校鮫川校（事業費：9千円）

「林業学習」では、木の種類や里山の管理方法を学習し、枝打ちの実技を行った。村の基幹産業についての理解を深め、その良さを自覚し、体験することにより、自主性や意欲を高めるとともに生徒同士の連帯感を培うことができた。

③耶麻農業高校（事業費：1,731千円）

ナラの林を守るため、学校林内の除伐・間伐と下草の刈り払い、また、散策道などの学習環境を整備した。地域の講師を迎え、炭窯づくりや炭焼きを実際に行い、地域産業の担い手となる人材育成を図った。

④会津農林高校（事業費：1,035千円）

伐採から製材までの過程を学習し、木材生産の一連の過程を統一的に理解させることにより、林業の意義について理解を深めさせた。会津農林事務所と連携し、会津管内の間伐材を利用したテーブルとイスを作製し、昭和の森に設置する作業を行っている。地元の二校の小学校と、森林の価値についての交流授業を行った。

⑤南会津高校（事業費：80千円）

2回の林業体験学習と講話を通して、森林と自分たちの生活との関係や、森林保全・治山事業などが地域社会に果たしている役割について理解を深めさせることができた。また、この地域の教材を生かした教育活動が実践でき、「地域とともに生きる」ことを考えさせることができた。

⑥あぶくま養護学校（事業費：155千円）

海老根和紙手漉き体験では、学校周辺地域の人々との交流を通して伝統文化についての理解を深めることができた。また、自然の材料を使って作り上げられる和紙作りを体験することで、自然の不思議さや自然との共生について考えを巡らせることができたと同時に、自然を大切にす気持ちについても学ぶことができた。

⑦会津養護学校竹田分校（事業費30千円）

学校周辺の自然観察から自然の家での体験学習の一連の学習に意欲的に参加し、身近な地域の自然環境や森林の資源に関する学習ができた。

⑧会津学鳳中学校（事業費：172千円）

森林生態系への理解と関心を深めるとともに、人と豊かに関わる力を育むため、五色沼周辺の自然観察を通して、森林での体験型学習を実施した。また、間伐材を利用したプランターの製作を通して林業等への理解と関心を深めながら、森林環境学習を総合的に展開した。



間伐材を使ったプランター製作

○実績累計（H18～24）

- ・事業費計：19,943千円
- ・実施数 14校（延べ30校）
- ※参考（H18～20「県立学校における森林環境学習推進事業」）
- ・実施数 5校（延べ9校）

V 森林文化の継承

18 ふくしまの森林文化継承事業

（森林計画課）

事業概要

先人たちが育んできた森林と人の絆（つながり）である森林文化や木の文化を改めて見直し、現代生活に活かしていくため、県民への普及PR事業を行うための事業。

- ・ふくしまの森林文化継承事業 予算額：5,227千円（5,281千円）

○平成24年度実績見込み

- ・ふくしまの森林文化継承事業（事業費：5,227千円）

①森林文化調査業務を特定非営利活動法人超学際的研究機構に委託し、県内の森林文化の調査を実施した。森林文化調査検討委員会を2回開催し、有識者の意見を踏まえて実施した調査結果を調査カードに取りまとめるとともに、森林文化を継承していくための記録映像を3本作成した。

- 記録映像 ・山御講（飯舘村 山津見神社、相馬市 立切集落）
- ・鷹匠（前編）（福島市 高木利一氏）
- ・アケビつる細工（只見町 酒井洋子氏）

②森林文化公開体験事業を財団法人ふくしまフォレスト・エコ・ライフ財団に委託し、奥会津・三島町の森林文化をテーマに、ふくしま県民の森フォレストパークあだたらにおける企画展示と、三島町を訪れる交流バスツアーを実施した。



福島県の森林文化に係る調査検討委員会の開催



森林文化企画展の開催
（三島町工人による実演の様子）

VI 森林環境の調査研究

19 猪苗代湖水環境保全対策調査事業

(水・大気環境課)

事業概要

紺碧の猪苗代湖を復活させ、水辺環境保全に向けた活動を県民が一丸となって積極的に推進していくことを目的として、大腸菌群数超過対策のための調査や、農地・山林からの排出負荷実態調査などを実施し、猪苗代湖の水質改善に向けた検討を行うための事業。

- ・猪苗代湖水環境保全対策調査事業 予算額：1,932千円 (4,400千円)

○平成24年度実績見込み (事業費：1,932千円)

「猪苗代湖流域における山林負荷実態調査」として、猪苗代湖流域における森林施業が水環境に与える影響及び効果を把握するため、森林整備区域内等の溪流の水質調査(放射性物質を含む。)を委託により実施した。

- ・調査実施場所：猪苗代町若宮地区及び蚕養地区 5地点
- ・調査回数・時期：9回/年
(6月、9月：晴天時及び降雨後の2回、5、7～8、10、11月：各1回)
- ・調査項目：水温、透視度、流量、窒素、りん、COD、大腸菌群数等



調査地点の事前調査の様子



採水の様子

VII 森林環境基金の運営

20 森林環境基金運営事業

(森林計画課)

事業概要

森林環境基金事業の適正な執行と透明性を確保するため、「森林の未来を考える懇談会」を運営する事業。

森林環境税に対する県民の理解を深めるため、新聞広告等による取組みのPRや、優良な事例について成果発表会により県民や関係者と情報共有等を行う事業。

- ・森林の未来を考える懇談会運営事業 予算額：832千円 (949千円)
- ・森林環境税関連施策PR事業 予算額：2,778千円 (2,841千円)
- 合 計 予算額：3,610千円 (3,790千円)

○平成24年度実績見込み

- ・森林の未来を考える懇談会運営事業 (事業費：832千円)

森林の未来を考える懇談会を4回開催した。

第1回 (平成24年7月11日)

福島県の森林林業の現状について、平成23年度事業の実績、平成24年度事業の実施概要、平成24年度懇談会の開催スケジュール、森林環境基金事業成果発表会の開催について

第2回 (平成24年9月13日・14日)

事業実施箇所現地調査、意見交換

第3回（平成24年12月25日）

「森林とのきずな」の再生に向けた取組みについて、
森林環境基金事業の評価、関連する県の個別計画について、
森林の放射性物質による汚染状況調査（中間報告）について

第4回（平成25年3月26日）

平成24年度事業の進捗状況、平成25年度事業の概要、
「森林とのきずな」の再生に向けた取組みについて

・森林環境税関連施策PR事業（事業費：2,778千円）

①森林環境基金事業成果発表会を開催し、これまでに実施してきた県民参画による森林づくりや森林環境学習等について、市町村や小学校、NPO法人の担当者により8題の発表があり、取組みについての情報交換等と県民へのPRを行った。

②県民共有の財産である森林を、県民と一体となって再生していく取組みについて、新聞広告による情報発信を実施する。

・3月30日 福島民報（朝刊）に掲載予定



森林の未来を考える懇談会開催の様子



森林環境基金事業成果発表会の開催の様子